

第50回記念 全国道場少年剣道大会 『参加上の注意』

※ 出場者は必ず監督が引率し、事故防止並びに大会中選手の健康管理など、全ての責任を持って下さい。

※ 日本武道館における「席取り」について（1Fの観客席は1団体20席以内）

「席取り」が年々加熱している為、どんなに早く並ばれ、開場と同時に入場されても、1Fの観客席は1団体20席までとします。2F・3Fの観客席はこの限りではありませんが、剣道具等の荷物は座席の下に置くなど、必要数以上の占有はおやめ頂き、互譲の精神で皆さんが気持ち良く観戦できるよう、ご協力下さい。

開場と同時に館内になだれ込み、席取りに走り込むご父兄等が見受けられます。

事故の危険性がありますので必ず係員の指示に従い、整然とご入館下さい。

（貼り紙やシート類・ロープ・竹刀等で席を必要以上に独占するのは、厳に禁止です。）

また、前日よりテント等を持ち込み、泊まり込みをするような行為は、禁止とします。

そこでの事故・トラブル等は、一切責任を負いません。万一事故があった場合、大会が開催できなくなります。

※ 特に大会2日目の個人戦の日は多くの団体が参加しています。最低必要数で譲り合ってご利用下さい。

※ 20席を超えて席を確保している団体については、本部役員より席の排除をさせていただきます。

1. 準備等について

- ① 出場する試合の確認は、【出場決定通知書】のエントリー部門・試合日・試合場をよくご確認下さい。
- ② 試合者の目印（紅白たすき）は、各自ご持参頂き着脱も行って下さい。
プログラムによるチーム(選手)番号の若い方を赤とします。
- ③ 試合者の名札は**所属団体部分がチーム名(全道連登録名)と合致した、姓入りの明確に読み取れるもの**を使用して下さい。
(全道連に「〇〇中学」で登録していない場合は「〇〇中」の名札は使用できません。)
- ④ 少年剣士会員章（ワッペン）は、試合参加証であり、また、傷害保険証です。
選手は、ワッペンを剣道着右上腕部に、必ずつけて参加して下さい。
- ⑤ 選手の館内での履物について、大道場以外での館内外の裸足歩行は禁止されております。
スリッパ、運動靴等で移動をお願いします。また、紛失・盗難予防に、名入れ等、充分管理下さい。
- ⑥ 本大会ではオーダー表を使用致しません。
- ⑦ **大会前日の会場内の下見、旗掛け、席取りはできません。また、各日共、物を置いておく事ができません。各日共、完全撤去という形をとります。残された物は撤収し、遺失物として本部で預かります。**
- ⑧ 開会式前、大道場での稽古は当日の選手以外はできません。
稽古をする場合は**監督**が責任を持って安全な環境を常に留意して指導して下さい。
この場合の事故について、本部は一切責任を負いません。
- ⑨ 各試合場、第1試合及び第2試合の各チーム（選手）は、開会式終了後迅速に試合ができるよう、ご準備下さい。
試合順番の確認は当日配布するプログラム受領の後、直ちにご確認下さい。
- ⑩ 日本武道館宛に前もって剣道具等の荷物を送り届ける事はできません。
大会期間中、帰省先等に向けての宅配業者の窓口は設けてあります。（西口 横）

2. 受付等について

- ① **【出場決定通知書】**により受付を致しますので、必ずご持参下さい。
- ② 他の日の試合の受付はできません。各日共、受付を行って下さい。
- ③ 受付は各日共、日本武道館西口において午前7時30分（予定）より行います。
- ④ 受付をする方のみ、**該当受付場所**にお越し下さい。（二重に受付をしないようご注意下さい。）
- ⑤ 受付時に監督証及び、選手数のプログラムと参加賞をお渡しします。
- ⑥ 団体戦の欠員・補充等の連絡は試合日当日、当該チームの**第1試合開始までに各試合場**でお願いします。
該当試合場の「選手変更届」用紙に記入頂き、審判主任又は試合場責任者の了承を得て下さい。
- ⑦ **個人戦の変更は出来ませんので欠場となります。受付時にお申し出下さい。**

3. 開会式について

- ① 各日共、午前9時より開会式を行います。
- ② 選手は午前8時40分までに大道場に胴・垂着用の上、ご集合下さい。(面、小手、竹刀は式典中、必要ありません。) それ以降の大道場への入場は、式典の関係上ご遠慮頂きます。同時刻までの集合にご協力下さい。
選手は必ず参列し、式典中に他の場所で練習など行う事のないように準備して下さい。
- ③ 開会式で国歌を斉唱致します。参加選手に歌唱するよう、ご指導をお願い致します。

4. 大道場内について

- ① 試合当日の選手、監督以外は大道場に入れませんので厳守下さい。監督は各日指定の監督証を必ず着用して下さい。
- ② 監督は1団体に1人の登録です。(個人戦も同様です)
- ③ 試合場間の通路(特に5試合場～12試合場の中央通路)は、**試合に近いチーム(選手)のみ出入りをお願いします。**
- ④ 監督、選手は移動通路の確保にご協力下さるとともに、以後の試合がない場合、すみやかに観覧席にてご観戦下さい。
- ⑤ 選手待機場所での竹刀、面の取り扱いが問題になっております。
「竹刀スタンド」等を用いて、会場内の整頓にご協力をお願いします。

5. 試合について

A 団体戦 / 小学団体の部(7月28日)・中学団体の部(7月30日)

- ① 試合は各試合場、トーナメント方式に依り、全日本剣道連盟 剣道試合・審判規則及び細則並びに、本大会要項、申し合わせ事項に従って行います。
- ② 団体戦の**試合時間は小学生2分、中学生2分30秒、3本勝負**で行い、勝敗の決しない時は引き分けとします。
- ③ 団体戦の勝者数、総本数が同数のときは、任意選出による代表者戦によって勝敗を決します。
代表者戦は1本勝負とし、時間は区切らず勝敗の決するまで行います。
- ④ 「上段の構え」、「突き技」については、(公財)日本中学校体育連盟剣道部の申し合わせ事項に準じ禁止します。
但し隻腕の場合は、事前に大会本部に連絡して下さい。
- ⑤ 試合場は規則より狭く設営してありますが、「場外」の反則は規則通り適用します。
- ⑥ 竹刀の規格は全日本剣道連盟の規則に従います。但し小学生は111cm(3尺6寸)以内とします。
- ⑦ **今大会での「ブラック面金付き面」は使用できません。**
- ⑧ 関係者一同、対戦相手を取り違えないよう充分ご注意下さい。
- ⑨ **団体戦に於いて当該チームの第1試合開始までに事故者、病欠者等が出た場合の欠員補充は認めます。**
試合開始前までに、必ず該当試合場の「選手変更届」用紙に記入頂き、審判主任又は試合場責任者の了承を得て下さい。
但し、オーダーの入れ替えは認めません。
尚、試合が開始されてから事故者等が出た場合は欠員のままで行います。
- ⑩ 各試合場の1回戦目までにおいて、数回呼び出しても現れないチーム(選手)がある場合は、次の試合を進めます。
3試合を待ち、それまでに現れない場合は不在チーム(選手)の不戦負けとします。
その間、対戦チーム(選手)はその場に待機して下さい。
- ⑪ 各試合場の2回戦目以降は、数回呼び出しても現れない場合は不在チーム(選手)の負けとします。試合進行にご注意下さい。
- ⑫ 交通機関等の事情により、上記の時間以上、試合場到着が遅れる場合は、大会委員長又は大会総務委員長により判断致します。
- ⑬ **進行状況により試合場を変更する場合があります。場内アナウンスにご注意下さい。**

B 個人戦 / 各4部門 (7月29日)

- ① 個人戦はトーナメント法に依り、各部門共、試合時間は2分30秒とし、3本勝負で行い、時間内に勝敗の決しない場合は判定とします。但し各部門の準々決勝以降(ベスト8以降の対戦)は、時間内に勝敗の決しない場合は、延長戦を2分間行い、更に勝負の決しない場合は判定とします。
- ② 判定の要件は、道場連盟申し合わせ事項により下記の順で決定する。
I. 試合態度の良否(積極性及び姿勢態度)。
II. 技能の優劣及び反則の有無。
- ③ 個人戦の選手変更はできません。欠員が出た場合は不戦扱いとします。
- ④ 開会式終了後、全試合場を使用して男子(小・中共)の1回戦を行います。
終了した試合場より、女子(小・中共)も所定の試合場で開始して行きます。
- ⑤ 各部門共、決勝戦を残すまで、試合を進めます。
- ⑥ 進行状況により試合場を変更する場合があります。場内アナウンスにご注意下さい。
- ⑦ 各試合場の三角ポールには、集まるべき試合番号までを掲示します。
該当番号が掲示されましたらすみやかに該当試合場にご集合下さい。
- ⑧ 呼び出し等、他事項は 「5. 試合について」 -A の団体戦の規定に準じます。

6. 表彰について

A 団体戦 / 小学団体の部 (7月28日) ・ 中学団体の部 (7月30日)

- ① 各試合場(全16試合場)において上位4チーム(3位)までを順次、本部席横にて表彰します。
準備が出来次第、アナウンスしますので、お集まり下さい。
- ② 決勝トーナメント以降 優勝～ベスト8(敢闘賞)までを表彰します。

B 個人戦 / 各4部門(7月29日)

決勝終了後、各部門とも 優勝～ベスト8(敢闘賞)を表彰します。

7. その他 武道館利用についてなど

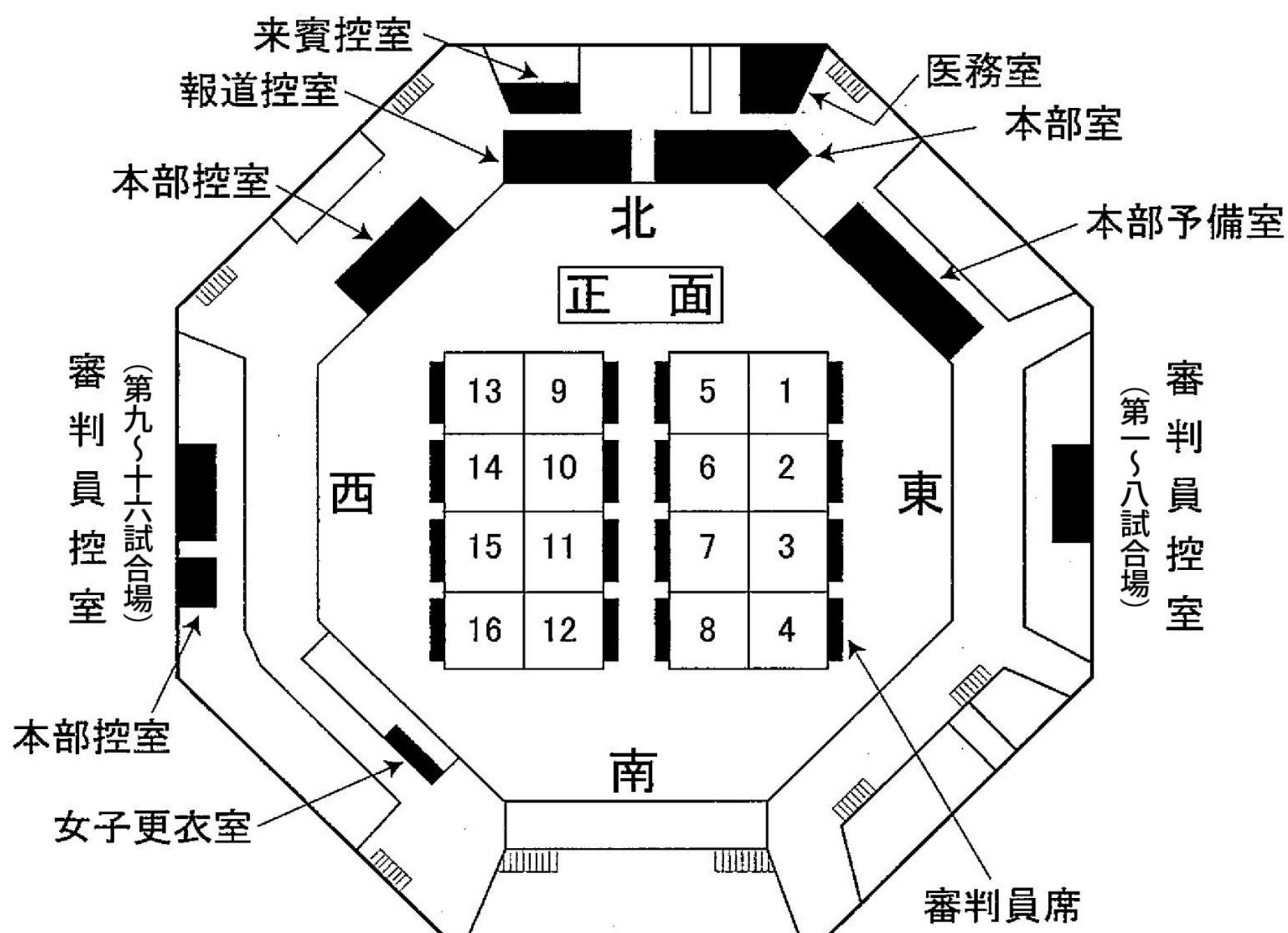
- ① ロビー、廊下及び駐車場での稽古、素振りは、日本武道館の内規で禁止となっています。遵守下さい。
 - ② ロビー、廊下及びバルコニー等にシート類・ロープ等で陣を取ったり、そこで飲食をする事は禁止されています。
 - ③ 旗・団旗等を掛ける場合、館内の空調口・案内板・非常口表示・方角表示場所・防犯カメラ等にかからないようご注意下さい。
妨げになっている場合、撤去、移動を願います。尚、2階南側にはすべて掛ける事はできません。
(日本武道館は3フロアから構築されていて、2階席から1階席に 又、1階席から大道場に大きな旗・団旗を掲げると試合進行及び観戦の妨げになる場合があります。配慮頂くと共に妨げになる場合は係員の指示で縮小、移動等して頂きます。)
 - ④ 館外より持ち込んだ飲食物のゴミ類は、館内で捨てられません。お持ち帰り下さい。
館内で購入した物のゴミは分別して指定の場所に捨てて下さい。
 - ⑤ 館内及び館外は全面喫煙禁止(一部指定喫煙場所を除く)です。指定場所以外での喫煙は一切できません。ご協力下さい。
 - ⑥ **館内の電気コンセントの使用はできません。また、館内の設備は大事に使用して下さい。**
 - ⑦ 日本武道館外(特に周辺)での事故が発生したことがあります。
少年剣士が試合以外でも怪我をしないよう、また、子供たちだけで遊ばせないよう呉々もご注意下さい。
 - ⑧ 館内の事故、盗難等に一切の責任を負いません。
 - ⑨ **監督、選手、応援者は武道館前までのタクシーでの乗り入れはできません。科学技術館前で降車して下さい。**
 - ⑩ 本部に届けられた遺失物については大会期間中、本部席で預かります。確認下さい。
大会終了後は6ヶ月間、事務局で保管します。お問い合わせ下さい。その後は処分させていただきますのでご了承下さい。
- ※ **館内には大会関係者以外も出入りしていますので、盗難には十分ご注意下さい。**
- ※ **主催者は大会中負傷疾病に対し応急手当をする他は一切の責任を負いません。試合者(選手)は少年剣士会員章(ワッペン)の傷害保険が適用されますので、万一、傷害が発生した場合、本部に届け出て下さい。**

一般財団法人 全日本剣道道場連盟 <http://www.zendoren.org>

公益財団法人 日本武道館 <http://www.nipponbudokan.or.jp>

< 大会が盛会かつ円滑に事故なく終了するよう ご協力をお願い致します。 >

会場案内図



指導者における暴力等の根絶について

既に全道連第25-062号において通知の通り、表記問題がメディア等で表面化され、剣道界においても問題視されております。

本連盟と致しましても特に剣道を通して幼年から青少年の育成に携る立場である事から、これを真摯に受け止め、根絶に向けて取り組んでいるところです。

指導者の皆様におかれましても、これを周知徹底頂き、充分留意され、剣道の理念を熟慮し、健全な活動と剣道の発展にご尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

監督の服装について

特に規定を致しませんが、相応しい恰好でお願い致します。

本大会の非常時対応について

平成23年3月11日に発生致しました、東日本大震災により、被災された方々、ご家族の皆様にご心より、お見舞いとお悔み申し上げますと共に、一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

これを受け、大きな揺れや危険と判断した場合は直ちに試合を止め、係員の指示に従って行動して頂きますので、ご了承下さい。